

会 議 録

1 会議名

平成 29 年度第 1 回高士区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 地域活動支援事業について（公開）

・採択決定までのスケジュール

(2) 自主的審議について（公開）

・高士の未来づくり懇談会のまとめ

・今年度のスケジュール

3 開催日時

平成 29 年 4 月 19 日（水）午後 6 時 30 分から午後 7 時 15 分まで

4 開催場所

高士地区公民館 2 階 中会議室

5 傍聴人の数

1 人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委 員：青木正紘（副会長）、飯野憲静（会長）、飯野正美、金子和博、小林トシ子
建入一夫、中嶋真一、樋口義昭、日向こずえ、細谷八重子、横川英男
横山とも子

・事務局：中部まちづくりセンター 山田センター長、野口係長、田中主事

8 発言の内容（要旨）

【田中主事】

・会議の開会を宣言

・上越市域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【飯野会長】

・挨拶

【田中主事】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条 1 項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【飯野会長】

会議録の確認：横山委員

「(1) 地域活動支援事業について」の採択までのスケジュールについて事務局に説明を求める。

【田中主事】

- ・資料No.1 により説明

【飯野会長】

今の説明に質疑を求める。

(発言なし)

次に「(2) 自主的審議について」の「高士の未来づくり懇談会のまとめ」について事務局に説明を求める。

【田中主事】

- ・資料No.2 により説明

【飯野会長】

今の説明に質疑、意見を求める。

【飯野正美委員】

高士スポーツ広場についてだが、施設の耐震強度からみて建物を壊すと体育課から先般の説明で聞いたが、グラウンドはどうなるのか。

【山田センター長】

耐震工事を伴う施設については壊す方向性であると体育課から説明があったが、グラウンドの利用方法も含め、体育課から適宜、現況報告をしてもらおうと考えている。

また、計画では平成 30 年度で廃止としているが、高士スポーツ広場のあり方について各団体と体育課で協議をしていると思うので、その現況報告についても事務局から体育課へ願います。

本日、センターでは答えを持ち合わせていないが、グラウンドについては適切な管理が施されていることから、廃止の可能性は低いと思う。

【飯野正美委員】

リトルシニアの専用のグラウンドになる方向もあるのか。

【山田センター長】

体育課の説明の中では、恒常的に使用している団体としてリトルシニアを例に挙げたが、他にも高士体育協会など関係団体がある中で、どのような話し合いが進んでいるかについても、体育課から現況報告をお願いする。

【飯野会長】

他になければ、終了するがよいか。

(「よし」の声)

次に「今年度のスケジュール」について事務局に説明を求める。

【田中主事】

・資料No.3により説明

【飯野会長】

今の説明に質疑を求める。

【金子委員】

“ファシリテーター”とは何か。

【田中委員】

「話し合いの中に入ることで全体的なバランスをとり、話し合いを円滑に進行するための役割を行う人のこと」である。

【飯野会長】

上越市創造行政研究所に高士区出身の市職員がいた。市全体の分析やその中で高士がどういう状況なのかというようなことを、データに基づき、いろいろなことを研究していたのだが、本人の了承を得られれば、データに基づいて、高士区がこれからどうなるのか、どうしたらよいかを、意見交換すればよいかと思うが皆さんはどう思うか。全くこの地域を知らない人が来て話をするよりも、地元で知識のある方から聞くのも1つの方法かと思う。

【横川委員】

「高士区在住市職員」と書いてあるが、高士区在住の市職員全員ということなのか。あるいは、創造行政研究所の経験の方だけ来ていただくのか。

【飯野会長】

現在考えているのはその方1名だけである。皆さんから、高士区在住の市職員全員

に来てもらいたいということであれば話は別だが、どちらにしても本人の了承を得なければいけないため、我々が希望しても本人が遠慮したら実現できないことである。

【青木副会長】

できれば、関心のある市職員も一緒に意見交換をできればよいと思う。市の職員もそうあるべきだと思う。

【横山委員】

創造行政研究所の方に来ていただければよいと思う。高士区在住の市職員は数名しか知らないが、地元のことを一般の方よりも知っているので、ご本人の意向があれば、地元に対して意識の高い方は、話し合いに参加していただければよいと思う。

【飯野会長】

市職員との意見交換は行うということで、創造行政研究所だった方と、他の市職員の方にも声をかけて入っていただくという方向でよいか。

【横川委員】

それは、市職員にお願いしたら承知して参加いただけるのか、断られるのか、どうなのか。

【山田センター長】

地域協議会委員との意見交換となれば、市職員といえども、その地域に住んでいる市民なので、お願いすれば来ていただけると思う。

【飯野会長】

方法論としては、市長の業務命令は出さないのか。

【山田センター長】

自分の担当業務の説明等ということになれば、業務命令となるが、この場合は、行政の仕事とは違う観点にある。

【飯野会長】

隣近所の話し合いの仲間に入ってくれというかたちか。

【山田センター長】

先般行われた住民との意見交換の際に市職員も参加していたが、そのようなかたちである。

【飯野会長】

高士区在住の市職員に年配はおらず、ほとんど若い方が多いのではないか。

【山田センター長】

30代、40代が多い。

【飯野会長】

それでは市職員との意見交換は8月頃に実施することにしたいと思う。

【山田センター長】

先ほどファシリテーターの話があったが、前回の意見交換会のときに、3班に分かれて委員の皆さんから司会をしていただいた。終わったときに、もう少し皆さんの意見を引き出すためのスキルを高めたいという意見が委員の皆さんから出ていた。その辺については、皆さんはどう考えるか。

【飯野会長】

委員に意見を求める。

【横川委員】

ワークショップ等に出させていただいているが、意見を引き出すというのは、中々すぐにできるものではなく、経験も必要なので、まとめきれないと思う。よく言われたのは、ワークショップでは人の意見を否定してはいけない。全ての意見を取り出して、それから前に進む。勉強する機会があれば、まだ任期が3年あるのでよいと思う。

【青木副会長】

良いことなのだが、この地域の人が集まると、同じ方向に話が進んでしまうので、そこで釘を刺すような人や、グループの中での中心となって、リードしてくれる人が居てくれたらよいと思う。そういう意味ではファシリテーターのようなリーダーがいてくれたほうがよい気がする。

【飯野会長】

自主的審議について、特に意見がなければこれで終わりにするがどうか。

(「はい」の声)

「その他」について、事務局に説明を求める。

【田中主事】

- ・ 次回の協議会：5月16日（火） 午後6時から 高士地区公民館
- ・ 地域活動支援事業の提案状況の報告

【飯野会長】

提案書だが、今回は出足が鈍いということだ。今年も大勢の皆さんから提案してい

ただきたいと思っている。新たな発掘をお願いする。

【野口係長】

資料No.2 で高士スポーツ広場が廃止する前に地域で記念イベントをやったらどうかとあるが、まさに地域活動支援事業で補助金を活用しながらできれば一番よいと思う。

実行委員会を立ち上げるなどして、ご提案いただければ達成できるかと思うので、ここでご案内させていただく。

【飯野会長】

高士スポーツ広場と川上善兵衛生誕 150 周年を掘り下げれば提案できるものは、結構あるはず。

【飯野正美委員】

高士スポーツ広場の記念イベントは、どのようなものを想定しているか。

【飯野会長】

さよならパーティーのようなものになる。

【飯野正美委員】

閉校のときに記念イベントをやったが、施設の廃止でもイベントを行うのか。

【横山委員】

それは意見交換会で出た意見か。

【野口係長】

先日の意見交換会の中で出た意見であり、施設がなくなるという一つの節目に、一括りつけたらどうかという意見だったはずだ。

【金子委員】

グラウンドは広いため、運動会をしたらどうかという話もあった。

【飯野会長】

他に意見がなければ終了する。

- ・会議の閉会を宣言

【青木副会長】

- ・閉会の挨拶

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-5111 (内線 1449、1547)

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。